

図書館《私の使い方》

服部 学道



皆さんは本学図書館を学校生活の中でどういった「場所」として利用されていますか。知識が詰まった本がたくさんあるので勉強に使っているという方が多いかと思います。私にとって図書館は昨年から続けているアルバイトの「職場」という一面もありますし、プライベートで来るときは「リラックスする場」として利用しています。

もちろん図書館は私語や飲食物の持ち込みは禁止されていますが、代わりに静かで清潔な空間が確保されています。また、勉強に使う難しい本だけでなく、大学生の好奇心をそそるような雑誌も図書館にはあります。

唐突ですが、私は自転車とカメラを趣味にしています。冬は寒さが厳しいですが、自転車で風を切って行ったことのない場所に行くのは気持ちがいいですし、旅先できれいな景色や友達との楽しい瞬間をカメラで写真に収めるのはたくさんの思い出を残してくれます。最近は大学の駐輪場にもスポーツ自転車が増えてきたように感じますし、一方世間ではカメラ女子といった女性写真愛好家も増えているようです。

図書館でも、自転車雑誌やカメラ雑誌を所蔵

しており、そういった趣味を学校にいながらにして楽しむことができます。最新号は日本語の雑誌であれば第一閲覧室に、外国語の雑誌であれば第二閲覧室（アジア系言語は分館閲覧室）に置いてありますが、過去に出版された雑誌は書庫に保管されています。読み損ねてしまった過去の雑誌を読み返す事ができるのは書店にはない強みだと思います。

また、第二閲覧室では洋雑誌を所蔵していますので、留学生やこれから留学に行く人、帰ってきた人はこれを通して流行などを知ることができますし、日本人の学生にとって教科書では知ることができない情報を手に入れることで、留学先の国民性や風土などにより強い興味を持つことができるのではないのでしょうか。

雑誌は、いつも図書館を利用してくださっている方はもちろん、あまり利用しない方も手軽に手に取って楽しめると思います。授業の空き時間や昼休みにふらっと“リラックス”しに図書館に足を運んでみてください。

はっとり まなみ（2013年度イタリア語学科卒業生）

